



一商だより

第3号

宮城県一迫商業高等学校
平成27年7月6日発行

〈本校校章の由来〉

「高」の文字を八ツ鹿の角で囲み、郷土の代表的な植物「石楠花」の葉と、ソロバンの珠を放射線状に配置している。郷土の文化と豊かな自然に支えられ、放射状の配置は我が校の限りなき発展を象徴している。

ようやく梅雨入りし、天気予報はさすがに傘マークが多いようです。シトシトジメジメ皆さんいかがお過ごしですか。暑ければ暑いと言う、寒ければ寒いと言う、雨ばかり降っていると雨ばかり降ってと言う... どうも私は人間まだまだ愚痴ばかりの未完成。水は私たちにとって大切な資源です。集中豪雨にならないことを願い、雨が降れば龍神様(雨の神様、りゅうじんさま)、晴れたときには天照大神(太陽の神様、あまてらすおおみかみ)に感謝しましょう。いつの間にやら夏至^注を過ぎ、7日の小暑、23日の大暑が過ぎる頃にはそろそろ梅雨明け、いよいよ太陽の季節がやってきます。

ワンポイント 夏至^注 1年のうちで昼の長さが一番長い日 今年(2015年)は6月22日でしたよ v(^.*.)v

夏至「げし」と読めますか。

じゃあ、昼の長さが一番短い日は何と言うかわかりますか。正解は12/22の冬至(とうじ)。

夏至は日の出 4:13 日の入 19:03 昼の長さは 14時間 50分 昼の時間が結構長いですね

冬至は日の出 6:49 日の入 16:19 昼の長さは 9時間 30分 5時間以上違うんですね(ほー)

弓道部女子 高体連県総体でベスト8!! 天晴れ(あっぱれ)、惜しくも決勝進出逃す

弓道競技団体は5人のメンバーが4本ずつ、計20本の矢を放ち、それを2回繰り返し合計40射の的中数で一次予選、二次予選、準々決勝、準決勝、決勝(上位5校のリーグ戦)と進んでいきます。

一次予選は聖和学園14中で1位通過、本校は13中、優勝候補多賀城のほか、桜坂、角田と同点2位グループで一次予選通過しました。結局、本校は準決勝まで進出し、80射中39射的中、決勝進出(上位5校)のためには5中及ばず、第8位という結果に終わりました。



ここで本校弓道部を弁護します。本校の立順(矢を射る場所)は全チーム中1番、この場所は本部席の目の前(役員の方先生方が座っている場所)で、右斜め前方には、何百人という応援生徒が視界に入る場所です。会場全体が静寂に包まれる中、立ち位置に先頭で入場し、1番最初に矢を放ったのが2年鈴木。その緊張感たるや想像を絶するほどだったのではないのでしょうか。また、最後5人目にも重圧がかかりますが、3年千葉は見事な的中率でした。一次予選の13中を続けていれば、決勝へ1位通過の聖和54中に続き、52中第2位で決勝進出となるころでした。しかし、これは俗に言う「たれば」(〇〇していたら〇〇していたら)の話です。

つくづく弓道は難しい競技だと思います。一次予選は緊張で無我夢中、周囲のことなど目に入らなかったでしょう。ある意味自分の弓道に集中できた。それが一次予選を終えた時には緊張が和らぎ、周囲の状況や、自分たちが2位であることを意識し、「よし二次予選も」とか「今度も的中させる」とかいう雑念となって心が乱れてしまったのでしょうか。

残念な結果ではあるけれども、優勝を狙える実力であることに自信を持ち、これからの大会を平常心で臨んでほしいと思います。

Principal sometimes talks to himself. 校長も時々愚痴る「butsubutsu」

<衣替えを過ぎたある日>

校長「1年〇組のA君，B君，C君。Yシャツの裾出していて，俺からゴシヤカレた生徒。去年はみんな，きちんと着ていたのに，今年は3人も注意したよ。butsubutsu」

校長「最近生徒の服装乱れていないか？シャツの裾をズボンから出していたり，スカート短かったり...，最近じゃ，俺と会うとコソコソ陰に隠れる生徒もいるのよ... 犯罪者が警察官見て逃げるようにさ。」

教頭「そうですね。校長先生に指導されるって恥ずかしいですね。」

校長「普通の会社じゃ，制服を乱して着ている社会人なんていないだろう。高校は義務教育じゃないし，制服きちんと着られないとか，先生方の指導に従えない生徒は学校やめてもらっても良いと思うんだが，どうだ。」

教頭（言葉には出さず「校長って結構...たんぱら」）「いやいや校長先生，まだ生徒は子どもですから，悪いところを直してあげるのが私たちの仕事です。」

校長「いや，そうは思うんだが，高校はもっと勉強したいとか，自分を高めたいとかいう生徒が来ればいい場所だよ。自由に生きたい生徒は学校やめて，仕事すれば良いと思うんだな。せつかく何年もかかって，先輩たちが評判の良い学校にしてきたのに，地域の方とか，企業の関係者の方が，Yシャツの裾出している生徒を見たら，学校の評判落ちるよ。」

ほんの数人の行いで頑張っている生徒が迷惑する。」

校長「やっぱりあの生徒は退学だあ!!!!!!!!!!!!!!!」

教頭「いやいや校長先生ちょっとお待ち下さい...」

：

校長と教頭のやりとりはしばらく続き，校長を押さえるのに教頭は大変だったようである結局は，教頭が責任持って正しい服装にさせるということで，落ち着いたらしい...

校舎内外問わずきちんと着るのじゃ
制服の乱れは心の乱れ!!

豊臣秀吉・石田三成 出会いの逸話 相手の心に思いを傾けて

日本人には言葉にしなくても，自分の気持ちを伝えたり，相手の気持ちを考え行動できる文化を持っているといわれる。ある暑い日，秀吉が狩りの帰り，寺に立ち寄って，お茶を所望した。その時お茶を差し出した小坊主は，大きめの茶碗にぬる目のお茶を入れて出した。のどが渴いていた秀吉は一気に飲み干しもう一杯所望した。2杯目は少し小さめの茶碗に少し熱めのお茶を入れて出した。感じるどころがあったのか，さらにもう1杯所望した。今度は小さめの茶碗に熱いお茶を入れて差し出された。のどが渴いている相手には，まずぬる目のお茶をたっぷり出し，次にちょっと熱めのお茶を，最後はお茶を味わいたいの熱いのを少量出したという才知に感心した秀吉は，この小坊主を自ら抱えることとした。後の石田三成といわれる。

Thanks & Please 御礼とお願い -地域の皆様方へ-

本校は県立高校でありながら，開校以来，皆様方に支えられ，栗原市一迫（旧 一迫町）と共に歩んで参りました。おかげさまで本校生徒は挨拶・服装をはじめ，一定の評価をいただいております。卒業生の希望進路達成は毎年100%となっています。これも一重に皆様方のおかげと感謝申し上げます。感謝の気持ちを忘れず，「地域を支える・日本を支える人材の育成」のため，学校創りを進めて参ります。今後ともご支援よろしくごお願い申し上げます。

電話0228-52-4112（教頭 狩野）